

京浜臨海部守屋・恵比須地区 研究開発拠点施設整備・運営等事業 神奈川区恵比須町に研究開発複合施設「共創の舞台」が開所しました

平成30年度に横浜市が実施した京浜臨海部守屋・恵比須地区 研究開発拠点施設整備・運営等事業による公募において、事業者となった昭和電工株式会社が、当該地区で整備を進めていた研究開発複合施設が令和4年5月31日に開所しました。

昭和電工株式会社は、神奈川区恵比須町に、研究開発ラボ及びコラボレーションスペース・ラーニングスペースを備えた自社の研究開発複合施設である「共創の舞台」の整備を行いました。

当該施設の整備は、「京浜臨海部再編整備マスタープラン エリアプラン2：新子安ゲートアイランド（仮称）」構想の実現及び市内研究開発企業や周辺企業等との連携による地域経済の活性化に寄与するものであり、横浜市としては、当該施設と連携しながら、守屋・恵比須地区の研究開発拠点としての機能強化を一層進めてまいります。

1 事業者

昭和電工株式会社（東京都港区芝大門1-13-9）

2 土地の概要

- 所在地：横浜市神奈川区恵比須町2番10、2番14
（JR京浜東北線 新子安駅、京急本線 京急新子安駅 徒歩8分程度）
- 地積：4,403.76㎡
- 用途地域等：工業専用地域（60%、200%）横浜港臨港地区（工業港区）

3 事業概要

事業コンセプト	多様な人々が集まり、新規パイプラインの創出が促進される舞台 ・ 多様な研究開発主体が集う複合施設「共創の舞台」から新たな価値を創出し、世界の産業発展に寄与する。 ・ 交通利便性を生かし、オープンイノベーションなどの国内外の技術や知見を戦略的に融合させる最先端かつ複数の機能を有する中枢基盤（プラットフォーム）とする。 ・ 当該地区に対する知見を生かし、活気と魅力のある新しい産業地域・都市空間を形成する。
施設概要	延床面積約8,800㎡ 地上5階建て 1～4階 研究開発ラボエリア ※ 新規テーマに沿って活用する将来スペースを含む 昭和電工グループの先端分野の研究開発を担う中枢拠点であり、当該地区の研究開発ハブ形成の中心としての役割を担う。 5階 コラボレーションスペース、ラーニングスペース 社内外での研究開発活動を推進し、オープンイノベーションによる共同研究や人材交流を行うことにより生み出される新たな発想を、当該地区の産業発展に還元していく。
事業用定期借地期間	50年（借地借家法第23条第1項）

※公募の結果に関する詳細は、下記のホームページをご参照ください。

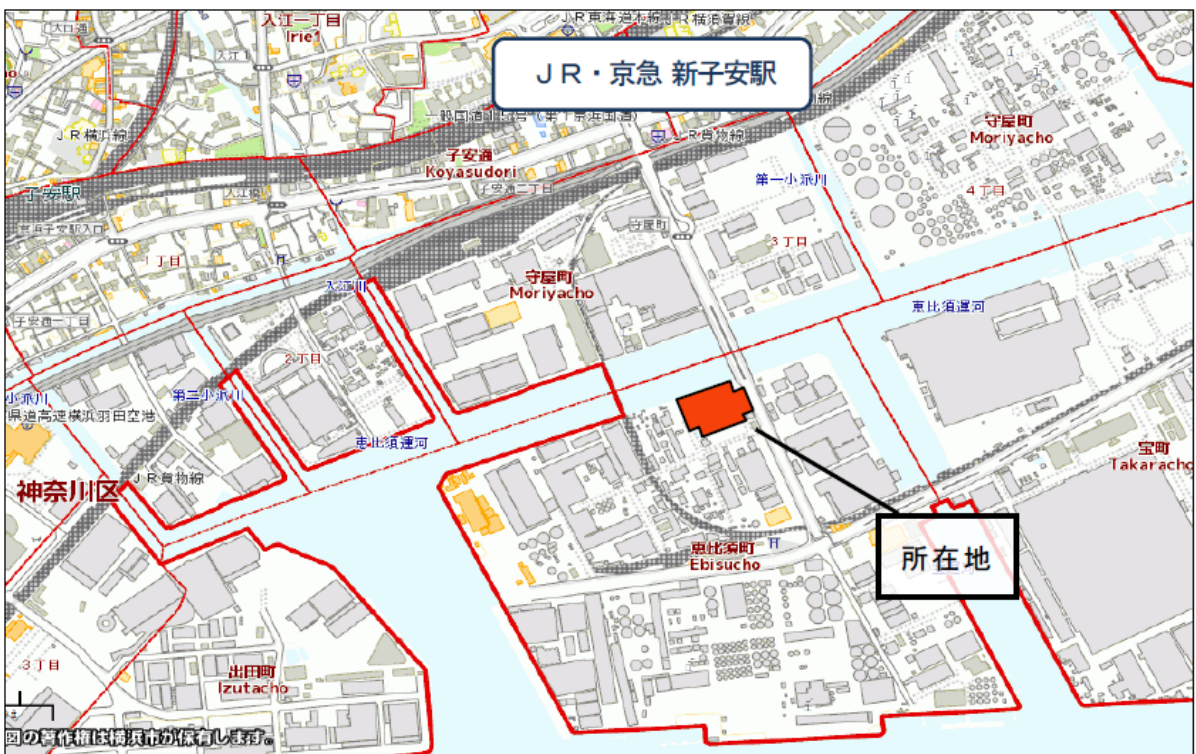
(URL <http://www.city.yokohama.lg.jp/keizai/shinshutu/moriyaebisu/20161121111139.html>)

(裏面あり)

【建物外観】



【位置図】



お問い合わせ先

(研究開発拠点施設整備・運営事業に関すること)

経済局企業誘致・立地課産業拠点活性化担当課長 三好 健治 Tel 045-671-4085

(研究開発複合施設「共創の舞台」に関すること)

昭和電工株式会社 ブランド・コミュニケーション部広報グループ

チーフマネージャー 兒玉 淳治 Tel 03-5470-3235